

(別添 1)

No.	10
策定年月	令和 5 年 6 月
見直し年月	令和 7 年 6 月

水田農業高収益化推進計画

群馬県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

令和5年及び6年夏の記録的な猛暑の影響により主食用米が品薄となり、価格が高騰したことを受け、令和7年度は需給バランスが大きく崩れ、生産者が作付けの判断を行う上での見通しが立てにくい状況にある。全国的には主食用米の需要を満たすために作付けの増加が見込まれるため、生産過剰による米価の下落も懸念されるなど、先行きは一層不透明となっている。

本県では、水稻生産の動向を注視するとともに、地域農業再生協議会等の関係機関と連携し、畑地化促進事業（畑地化支援助成）を活用して、水田における高収益作物の定着を支援し、農業者の所得向上を目指す。

また、群馬県農業農村基本計画2021-2025では、農業産出額を令和元年の2,361億円から令和7年には2,600億円に増加させることを目標に掲げており、この達成のためにも、本計画を策定し、水田農業の高収益化を推進する。具体的な品目としては、「野菜王国ぐんま推進計画2020」に重点品目および地域推進品目に位置付けられている野菜類（きゅうり、トマト、なす、いちご、キャベツ等）や、花き類（コギク、スプレーギク）や本県の特産品目であるコンニャク等の、水稻からの転換により所得の向上が期待できる品目を中心に、地域の特性や実情に応じて導入を図る。

2. 目標

(1) 推進方針

県・市町村等の関係部局、県・地域農業再生協議会、各JA等が連携し、畑地化促進事業（畑地化促進助成）の活用を促し、高収益作物への転換と定着を目指す。また、生産技術指導や経営指導を行い、産地推進計画を設定した各産地の面積、収量、販売額の増加を目指す。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地 ／ 施設	選定理由	目標							
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
いちご	生食	施設	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.65 ha (令和4年)	1.01 ha (令和9年)	5,000 kg/10a (令和4年)	5,500 kg/10a (令和9年)	千円 40,268円 (令和4年)	千円 74,715円 (令和9年)		
ほうれんそう	生食	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.00 ha (令和4年)	0.73 ha (令和9年)	0.00 kg/10a (令和4年)	1,200 kg/10a (令和9年)	千円 0円 (令和4年)	千円 4,214円 (令和9年)		
えだまめ	生食	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における地域推進品目に位置付けられており、地域内で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.35 ha (令和4年)	0.92 ha (令和9年)	600 kg/10a (令和4年)	600 kg/10a (令和9年)	千円 2,090円 (令和4年)	千円 5,332円 (令和9年)		
ブロッコリー	生食	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.24 ha (令和5年)	0.25 ha (令和9年)	1200 kg/10a (令和5年)	1,200 kg/10a (令和9年)	千円 789円 (令和5年)	千円 840円 (令和9年)		
ねぎ	生食	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.16 ha (令和5年)	0.25 ha (令和9年)	4000 kg/10a (令和5年)	4,000 kg/10a (令和9年)	千円 1702円 (令和5年)	千円 2,830円 (令和9年)		
なす	生食	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	0.07 ha (令和5年)	0.09 ha (令和9年)	7000 kg/10a (令和5年)	7,000 kg/10a (令和9年)	千円 1719円 (令和5年)	千円 2,451円 (令和9年)		
キャベツ	加工・業務用	露地	野菜王国ぐんま推進計画2020における重点推進8品目に位置付けられており、県全体で推進している品目であり、生産・販売の支援体制が整っている。	7.97 ha (令和5年)	8.77 ha (令和10年)	3,300 kg/10a (令和5年)	3,630 kg/10a (令和10年)	千円 16,476円 (令和5年)	千円 19,936円 (令和10年)		

太田市のみ

太田市のみ

太田市のみ

太田市のみ

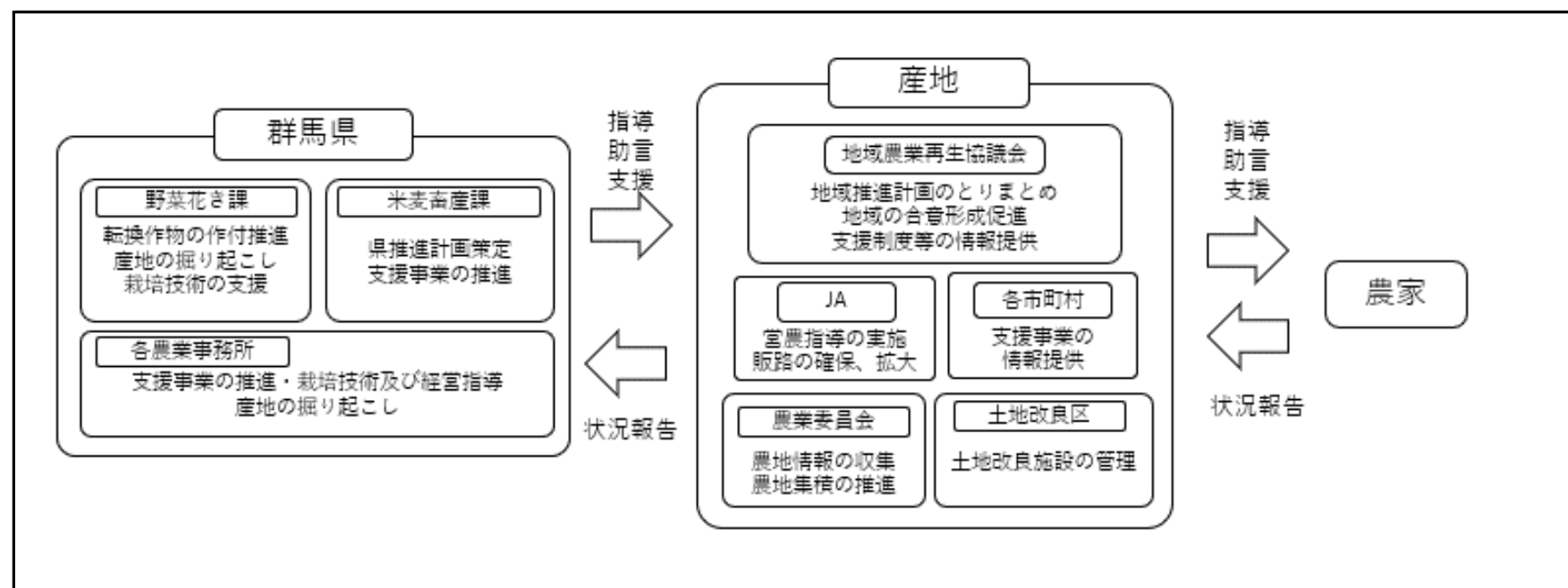
太田市のみ

太田市のみ

明和町のみ

- ※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
- ※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。
- ※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。（関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求めることがある。）
- ※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

関係機関や農家に対して、畑地化促進事業（畑地化促進助成）についての説明の場を設けるほか、国の作成した資料・チラシを活用して制度の周知と理解促進を図り、水田に高収益作物を導入・拡大する産地を掘り起こす。また、収量および販売額については、適切な病虫害防除、効果的な施肥や灌水について、普及指導員やJAの営農指導員と連携して技術指導を行う。また、産地の実情やニーズに応じて、環境制御技術をはじめとしたスマート農業の活用支援を行う。

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
いちご	共通の取組のとおり	天敵等を活用したIPM技術の推進、収量と品質の向上を目的とした環境制御技術の普及	収量および作付面積の増加による販売額の向上を目指す、栽培技術の高位平準化による食味のバラツキ改善	
ほうれんそう	共通の取組のとおり	病害抵抗性品種の導入と耕種的防除技術の普及、高温期・低温期の生産安定技術の確立	作付面積の増加による販売額の向上を目指す、適期収穫、適正な出荷調製等による荷姿の向上と鮮度保持対策の推進	
えだまめ	共通の取組のとおり	他作物や緑肥等との輪作導入による土壌病害虫対策の推進、計画的な作付による出荷量の確保、作期別適品種の選定と安定生産の推進	作付面積の増加による販売額の向上を目指す	
ブロッコリー	共通の取組のとおり	輪作体系の推進による根こぶ病等の連作障害の軽減、収穫期に合わせた品種選定	作付面積の増加による販売額の向上を目指す、長期安定出荷による産地の販売力強化	
ねぎ	共通の取組のとおり	難防除病害虫（黒腐菌核病・クロバネキノコバエ）の総合対策	単収増加による販売額の向上を目指す、適期収穫、適正な出荷調製等による荷姿の向上	
なす	共通の取組のとおり	整枝・摘葉管理技術の向上による長期安定生産	単収増加による販売額の向上を目指す、出荷規格の厳守・適正な出荷調製による荷姿向上	
キャベツ	共通の取組のとおり	セル成型苗の育苗技術の向上と機械作業体系の確立、適期作業、適期収穫の徹底	作付面積の増加による販売額の向上を目指す 加工・業務用の契約取引の推進	

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
1	太田市農業再生協議会	太田市	R5年作成(R7年変更)
2	明和町農業再生協議会	明和町	R6年作成

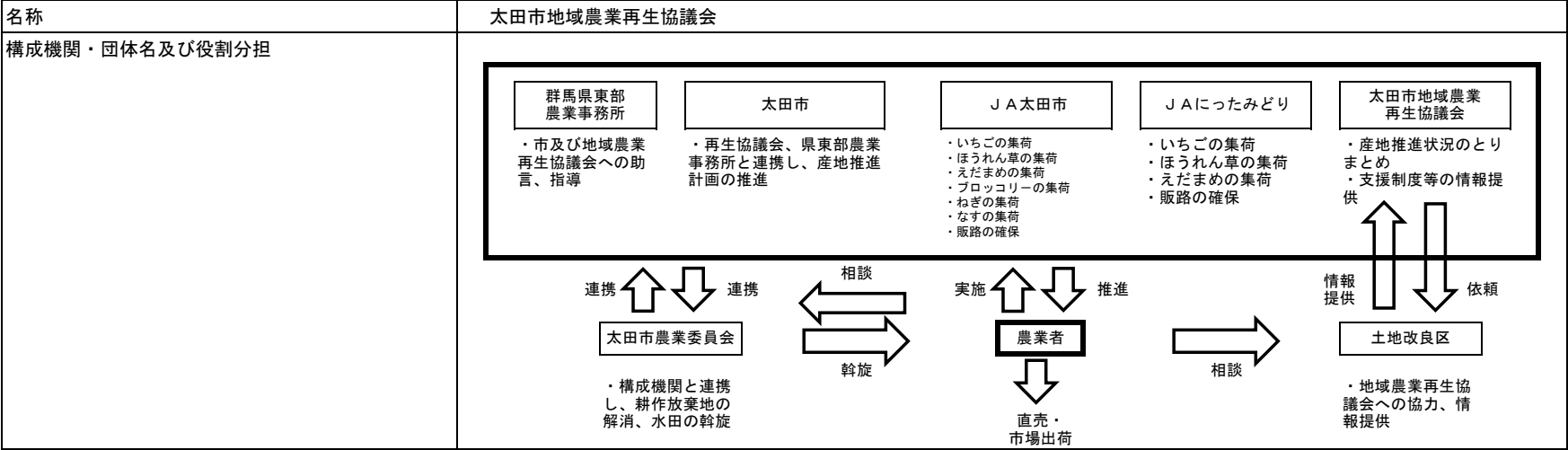
※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	10-001
策定年月	令和5年6月
見直し年月	令和7年6月

水田農業高収益化推進計画
太田市産地推進計画

1 計画作成主体の情報



2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
いちご	生食用	施設	JA太田市	0.65 ha (令和4年)	1.01 ha (令和9年)	5,000 kg/10a (令和4年)	5,500 kg/10a (令和9年)	40,267,500 円 (令和4年)	74,714,750 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ほうれんそう	生食用	露地	ＪＡ太田市 ＪＡにっただみどり	0.00 ha (令和4年)	0.73 ha (令和9年)	0.00 kg/10a (令和4年)	1,200 kg/10a (令和9年)	0 円 (令和4年)	4,213,560 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
えだまめ	生食用	露地	ＪＡ太田市 ＪＡにっただみどり	0.35 ha (令和4年)	0.92 ha (令和9年)	600 kg/10a (令和4年)	600 kg/10a (令和9年)	2,089,500 円 (令和4年)	5,332,320 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ブロッコリー	生食用	露地	ＪＡ太田市	0.24 ha (令和5年)	0.25 ha (令和9年)	1,200 kg/10a (令和5年)	1,200 kg/10a (令和9年)	789,120 円 (令和5年)	840,000 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ねぎ	生食用	露地	ＪＡ太田市	0.16 ha (令和5年)	0.25 ha (令和9年)	4,000 kg/10a (令和5年)	4,000 kg/10a (令和9年)	1,702,400 円 (令和5年)	2,830,000 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)
なす	生食用	露地	ＪＡ太田市	0.07 ha (令和5年)	0.09 ha (令和9年)	7,000 kg/10a (令和5年)	7,000 kg/10a (令和9年)	1,719,900 円 (令和5年)	2,450,700 円 (令和9年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、
「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	10-002
策定年月	令和6年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
明和町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	明和町農業再生協議会														
構成機関・団体名及び役割分担	<table><tr><td>群馬県東部農業</td><td>明和町</td><td>明和町農業再生協議会</td><td>JA邑楽館林</td><td>農業委員会</td></tr><tr><td>町及び農業再生協議会への助言指導</td><td>各関係機関と連携し産地推進計画の推進農地のあっせん</td><td>産地推進状況のとりまとめ 支援制度等の情報提供</td><td>販路の確保 肥料や防除の助言</td><td>耕作放棄地の解消 農地のあっせん</td></tr></table>					群馬県東部農業	明和町	明和町農業再生協議会	JA邑楽館林	農業委員会	町及び農業再生協議会への助言指導	各関係機関と連携し産地推進計画の推進農地のあっせん	産地推進状況のとりまとめ 支援制度等の情報提供	販路の確保 肥料や防除の助言	耕作放棄地の解消 農地のあっせん
	群馬県東部農業	明和町	明和町農業再生協議会	JA邑楽館林	農業委員会										
町及び農業再生協議会への助言指導	各関係機関と連携し産地推進計画の推進農地のあっせん	産地推進状況のとりまとめ 支援制度等の情報提供	販路の確保 肥料や防除の助言	耕作放棄地の解消 農地のあっせん											
	<table><tr><td colspan="2">実施・相談</td><td>↑ ↓</td><td colspan="2">推進・情報提供</td></tr><tr><td colspan="5"> 農業者 </td></tr></table>					実施・相談		↑ ↓	推進・情報提供		農業者				
実施・相談		↑ ↓	推進・情報提供												
農業者															

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
キャベツ	加工・業 務用	露地	JA邑楽館林	7.97 ha (令和5年)	8.77 ha (令和10年)	3,300 kg/10a (令和5年)	3,630 kg/10a (令和10年)	16,476,405 円 (令和5年)	19,936,450 円 (令和10年)	円 (令和6年)	円 (令和11年)
				ha (令和○年)	ha (令和○年)	kg/10a (令和○年)	kg/10a (令和○年)	円 (令和○年)	円 (令和○年)	円 (令和○年)	円 (令和○年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。